

環境厚生常任委員会

日 時 平成25年1月23日（水）

午前9時30分 ～

場 所 第3委員会室

1 開 議

2 事 件

行政報告（亀岡市ごみ処理基本計画（案）について）

3 その他

ごみ処理基本計画の策定に係るパブリックコメントの実施について

○パブリックコメント

意見期間 平成 25 年 1 月 23 日(水)～平成 25 年 2 月 20 日(水)
掲示場所 市ホームページ、市役所 1 階市民情報コーナー
意見の提出方法 Eメール、FAX、郵送、意見箱(情報コーナー)

○亀岡市循環型社会推進審議会

設 置 平成 13 年 8 月 1 日
会 長 京都学園大学バイオ環境学部(学部長) 金川貴博教授
委 員 数 15 人
開催経過 平成 24 年 7 月 31 日 諮問 概要説明及び今後の予定
10 月 26 日 計画(第 1～3 章)案の検討
12 月 20 日 計画(第 4 章)案の検討
開催予定 平成 25 年 2 月下旬 答申案の検討
答申予定 平成 25 年 3 月上旬

○技術支援(コンサルタント)

中外テクノス株式会社 関西支社

○亀岡市ごみ処理基本計画

計画期間 平成 25 年度～平成 34 年度(10 ヶ年計画)
基本理念 人と環境にやさしい資源循環型のまちづくり
～3R 型ライフスタイル・ビジネススタイルを目指して～

基本方針

- ①3R 型のライフスタイル・ビジネススタイルへの転換
- ②協力関係の構築による資源循環システムの構築
- ③ごみの適正処理に向けた施設・体制の整備
- ④不法投棄及び災害廃棄物への対策

数値目標

	H21		H34
・総排出量	28,736 トン	→	25,573 トン(11.0%削減)
・リサイクル率	15.4%	→	21.0%(5.6 ポイント増加)
・焼却処理量	22,078 トン	→	18,528 トン(16.1%削減)
・終処分量	4,728 トン	→	3,697 トン(21.8%削減)

亀岡市ごみ処理基本計画（案）の概要

名 称 亀岡市ごみ処理基本計画

→ 平成18年3月に策定した亀岡市ごみ処理基本計画（ごみ減量化行動計画）の改定

構 成 第1章 計画の概要・・・計画の目的、位置付け、期間など
第2章 本市の概要・・・位置、気候特性、人口動態など
第3章 ごみ処理の概要・・・処理実績、処理体制、課題整理など
第4章 ごみ処理基本計画
・・・基本理念、排出量の予測、目標設定、施策の展開、
処理計画
資 料 排出量や処理量の推計など

主な内容

第1章 計画の概要

目 的 将来におけるごみ処理の指針を示すこと

位 置 地域内のごみ処理に係る最上位計画

期 間 開始年度 平成25年度(2013)
中間目標年度 平成29年度(2017)
目標年度 平成34年度(2022)

第2章 本市の概要

位置地勢 京都府のほぼ中央に位置し、京都市に隣接、大阪市・神戸市から50km圏内

気候特性 内陸性気候、盆地特性、秋から初冬にかけ濃霧が発生

人口動態 H13年度95,751人をピークに減少、H23年度93,335人

産業構造 1次・2次産業から3次産業に大きく移行(都市型)

土地利用 山林と田畑で全体の約80%

都市計画 面積 22,490ha(うち約4.7%が市街化区域、約53.1%が市街化調整区域、約42.1%が都市計画区域外)

第3章 ごみ処理の概要

実績	総量	近年 30,000～28,000 トンで推移
	資源化率	15.5%に上昇(4分類 13 分別)
	①燃やすごみ	約 21,500 トン/年 全体の約 70～80%を占める(うち紙類 40%、プラスチック類 20%、厨芥類 20%)
	②埋立てごみ	約 2,100 トン/年(災害廃棄物等を含む)
	③資源ごみ	約 1,250 トン/年
	④粗大ごみ	約 150～200 トン/年
	○集団回収	約 3,500 トン/年
処理施設	焼却処分場	桜塚クリーンセンター 120 トン/日
	埋立処分場	エコトピア亀岡 16,000 m ²
	資源化施設	選別・圧縮施設(空きカン) 中継・保管施設(空きビン)
	その他	大阪湾フェニックスセンター、三重中央開発㈱など
収集体制	生活系	公益財団法人亀岡市環境事業公社に委託
	事業系	許可業者(11)
課題	①ごみの減量化	○分別拡大 ○生ごみの水切りの徹底 ○手つかず、食べ残しの縮減
	②資源化率の向上	市民意識の高揚による、分別の徹底、集団回収の拡大
	③最終処分場の確保	上記の課題を解決した上で大阪湾フェニックスセンター等を最大限に活用
	④その他	災害対策

第4章 ごみ処理基本計画

基本理念 人と環境にやさしい資源循環型のまちづくり

※上位計画である第4次亀岡市総合計画の施策の基本方針「人と環境にやさしいまちづくり」から引用

サブタイトル ～3R型ライフスタイル・ビジネススタイルを目指して～

- 基本方針
- ①3R型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換
 - ②協力関係の構築による資源循環システムの充実
 - ③ごみの適正処理に向けた施設・体制の整備
 - ④不法投棄及び災害廃棄物への対策

ケーススタディ（主な3R施策）

- ケースA 生ごみの水切りの推進
- ケースB 段ボールコンポスト講座等の開催、生ごみの堆肥化の促進及び生ごみ処理機の普及
- ケースC 食品ロスの解消、手付かず・食べ残し等の縮減の推進
- ケースD マイバッグ運動の推進、マイバックキャンペーン等の実施
- ケースE 簡易包装等の推進
- ケースF 容器包装廃棄物の分別収集の推進
- ケースG オフィス町内会等の設置の推進
- ケースH 地域におけるごみ分別の取り組み、地域団体等による集団回収の拡大、地域における集団回収への支援

目 標

	平成 21 年度	平成 34 年度
○総排出量	28,736 トン	→ 25,573 トン (11.0%削減)
○リサイクル率	15.4%	→ 21.0% (5.6 ポイント増加)
○焼却処理量	22,078 トン	→ 18,528 トン (16.1%削減)
○最終処分量	4,728 トン	→ 3,697 トン (21.8%削減)

施策の展開(施策体系/ごみ減量化行動計画)

(1) 3R型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換

- a 生活系ごみの発生抑制に向けた取り組み
- b 容器包装廃棄物の減量化に向けた取り組み
- c 事業系ごみの発生抑制に向けた取り組み
- d 環境教育・環境学習の充実に向けた取り組み
- e 環境リーダー・環境サポーターの育成に向けた取り組み

(2) 協力関係の構築による資源循環システムの充実

- a 生活系ごみの適正排出に向けた取り組み
- b 生ごみの減量・資源化に向けた取り組み
- c 分別収集の拡充に向けた取り組み
- d 回収拠点の拡充に向けた取り組み
- e 事業系ごみの適正排出に向けた取り組み
- f イベント等による意識啓発の取り組み
- g ネットワークの構築に向けた取り組み
- h 環境美化・清掃活動等の推進に向けた取り組み
- I その他の取り組み

- (3) ごみの適正処理に向けた施設・体制の整備
 - a 収集・運搬体制の充実にに向けた取り組み
 - b 中間処理体制の充実にに向けた取り組み
 - c 最終処分体制の充実にに向けた取り組み
 - d 既存施設の長寿命化に向けた取り組み
 - e その他(ごみ処理の広域化、進捗状況の点検・評価)
- (4) 不法投棄及び災害廃棄物への対策
 - a 不法投棄対策のための取り組み
 - b 災害廃棄物対策のための取り組み

亀岡市循環型社会推進審議会第6期委員名簿

選 任 区 分		職 名 等	委員氏名	任 期
学識経験者		京都学園大学 バイオ環境学部教授	かながわつかひろ 金 川 貴 博	平成25年9月30日まで
学識経験者(有識者)		公益財団法人亀岡市環境事業公社 環境推進第1課長	にしおかかずひろ 西 岡 一 宏	平成25年9月30日まで
市民代表	亀岡市自治会連合会	会長	おくのしょうぞう 奥 野 正 三	平成25年9月30日まで
	亀岡市環境基本計画推進会議	委員	まるたにいつこう 丸 谷 一 耕	平成25年9月30日まで
	クリーンかめおか推進会議	副会長	しみずひろかず 清 水 宏 一	平成25年9月30日まで
	公募(市民団体)	特定非営利活動法人 NPO亀岡人権交流センター理事長	もり え み こ 杜 恵 美 子	平成25年9月30日まで
	公募(市民団体)	愛あーすkameoka代表	あさばはつこ 浅 葉 初 子	平成25年9月30日まで
	公募(市民)	個人	かめおかごんしろう 亀岡権四郎	平成25年9月30日まで
	公募(市民)	個人	いしがきひろふみ 石 垣 宏 文	平成25年9月30日まで
	公募(市民)	個人	きちせすみこ 吉 瀬 澄 子	平成25年9月30日まで
事業者代表	亀岡商工会議所	女性会副会長	てらもとあつこ 寺 本 厚 子	平成25年9月30日まで
	スーパー・量販店代表	イオンリテール株式会社イオン亀岡店 人事総務課長	ひきたいさむ 疋 田 勇	平成25年9月30日まで
教育関係	亀岡市PTA連絡協議会	庶務	ゆうきかおる 結 城 薫	平成25年9月30日まで
	亀岡市小学校校長会	つつじヶ丘小学校 校長	いのうえとおる 井 上 亨	平成25年9月30日まで
	亀岡市中学校校長会	高田中学校 校長	はせがわよしお 長谷川吉雄	平成25年9月30日まで
		委 員 合 計	15名	

意見募集に係る計画等の案の公表項目一覧表

1 計画等の名称	亀岡市ごみ処理基本計画(案)
2 立案の趣旨・目的	廃棄物行政を取り巻く諸条件の変化やごみ処理の現状及び社会情勢等を踏まえ、今後10年間の長期的な展望に立った廃棄物行政を進める新たなごみ処理基本計画を策定するものです。
3 計画等の案の概要	基本理念 「人と環境にやさしい資源循環型のまちづくり」 数値目標 平成34年度までに 排出量:25,573t(11.0%削減) 資源化率:21.0%(5.6ポイント増加) 焼却処理量:18,528t(16.1%削減) 最終処分量:3,697t(21.8%削減) ※詳細は、別添亀岡市ごみ処理基本計画(案)に掲載
4 これまでの検討経過	平成24年7月31日に亀岡市循環型社会推進審議会に諮問を行い、10月26日及び12月20日に亀岡市循環型社会推進審議会を開催し計画案を審議した。 _____ _____ _____
5 添付資料	亀岡市ごみ処理基本計画(案) _____ _____ _____
6 意見募集期間	平成25年1月23日 ～ 平成25年2月20日
7 意見送付要領	①郵送またはファクス、電子メールで送付してください。 ②氏名または名称および住所を必ず記入してください。 ③電話でのご意見などには応じかねますので、あらかじめご了承ください。
8 意見の送付先	【住 所】 〒621-0101 亀岡市東別院町小泉桜塚6-6 亀岡市環境市民部環境クリーン推進課計画係 宛 【F A X】 0771(27)3561 【E-mail】 kankyo-jigyou@city.kameoka.kyoto.jp
9 問い合わせ先	亀岡市環境市民部環境クリーン推進課計画係 TEL 0771(27)2120

亀岡市ごみ処理基本計画（案）への

意見書

○ みなさんのご意見やご提案をお寄せください。

ページ 番号	意見項目	ご意見・ご提案

お名前、ご住所は公表しませんが、必ず明記してください。

ご住所（〒 ）亀岡市

お名前

提出先 〒621-0101 亀岡市東別院町小泉桜塚6-6

FAX 0771-27-3561

E-mail kankyo-jigyoku@city.kameoka.kyoto.jp